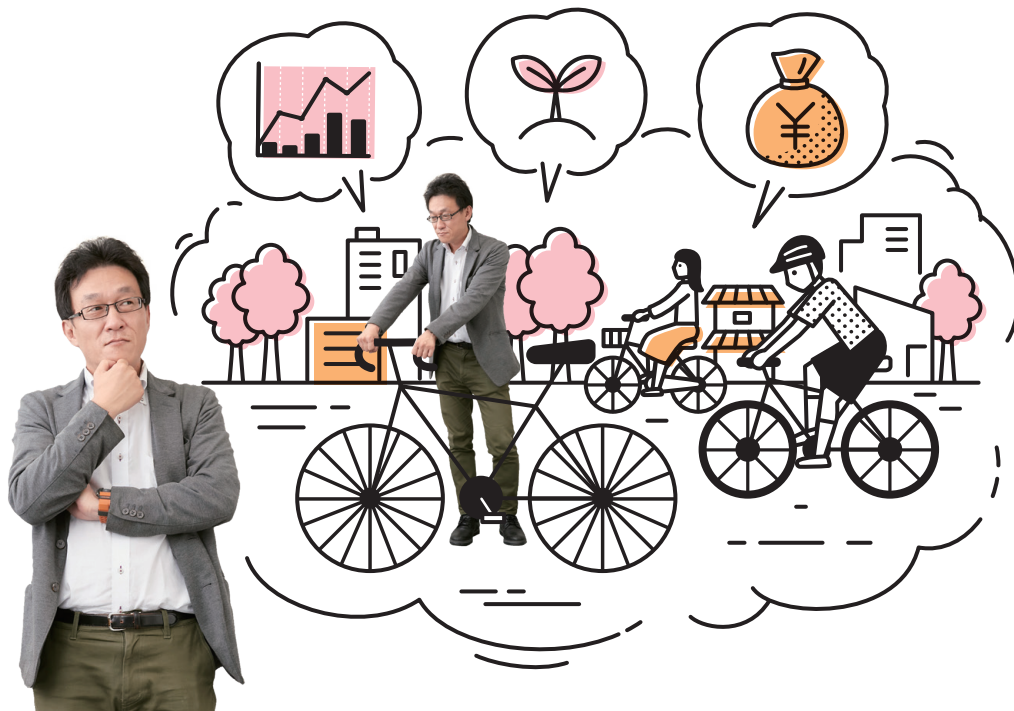




自転車で有名なあのメーカーは、 自転車自身をつくっていない？



「自転車で有名なのに、
部品しかつくっていない」
そんな部品供給企業も。

下請けといわれる部品メーカーは、 決して完成品メーカーの下なわけではない。

世の中の多くの製品の場合、エンドユーザーは「どんなメーカーや会社がつくった製品か」について気にすることはあっても「製品内の各部品がどのメーカー製か」についてはあまり知らないし、気にしないというのが一般的。そのため私たちは、完成品メーカーの方が大きく、部品メーカーの方が小さいという誤ったイメージを持ちがちです。しかし、たとえばPCの場合、「メーカーがどこか」よりも「どこのCPUが搭載されているのか」のほうが気になるユーザーが多いなど、完成品メーカーよりも部品メーカーが注目されているケースも。企業の大小やブランド力と、「製品製造工程が上流か下流か」は別の話なのです。

自転車製造業界の分析によって見えてくる、 部品供給企業の競争力。

私が注目しているのが自転車産業。自転車産業は、自動車などの他の製品とは違い、完成車メーカーと部品メーカーの立ち位置が特殊です。たとえば日本では、とあるギヤなどの駆動部品メーカーが、国内シェアの大半を占めており、ユーザーも「どこのメーカーの自転車か」よりも「その会社の部品がついているかどうか」に注目します。さらに近年、電動アシスト自転車やE-bikeなどが普及しつつありますが、電動化部分だけをユニット部品として製造し、A社製の電動ユニットを付けられるようにしたB社製の自転車など、各企業が完成車メーカーや部品メーカーの垣根をこえて、独自の競争力を磨いています。

TEACHER'S PROFILE



東 正志 先生

Azuma Tadashi

企業など、組織の仕組みを分析していく経営学は、社会がなぜこんなことになっているのか、さまざまな疑問を読み解く鍵になります。学生時代、実はなんとなくで経営学を専攻したのですが、今では社会の疑問が腑に落ちていくプロセスに、充実感を感じています。

マイブーム紹介



自分の肩の力を抜いてくれる、 愛猫と過ごす時間。

数年前からネコを飼いはじめました。追いかけ回すと走って逃げたり、じゃれあってるとネコパンチを繰り出してきたりと、挙動がとてもしっかり！あまり絡みすぎて研究のやる気がそがれないように注意しています(笑)